

岐阜県職員倫理憲章 岐阜県立瑞浪高等学校実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり岐阜県立瑞浪高等学校実行計画を定めます。

令和7年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法及び教育公務員特例法・教育職員免許法に定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 職務上利害関係がある者との会食や遊技、金銭・贈答品の譲受等の行為については、「岐阜県教育委員会事務局職員等倫理規程」にて規制されている旨、職員に徹底するとともに、職務上面談が必要な場合においても、個室を避けオープンスペースにおいて、職員2人以上で対応することを原則とします。
- 平成18年度に発覚した不適切経理事案を題材として職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課されている現実について、職員の認識を深めます。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、対応した職員個人や窓口担当者のみでの対応に任せず、学校全体で対応するとともに、岐阜県教育委員会の危機管理部門等関係部署との連携を密にし、協働して対処に当たります。
- 職員一人ひとりが、日ごろ服務規律を守り、絶えず県民の信頼を何よりも大切にしなければならない公務員としての立場を意識して、行動します。
- 公務内外を問わず、職員の言動は、絶えず県民から関心を持たれていることを意識し、私的な場面での言動にも留意します。
- 悲惨な交通事故を防止するため、また、率先して法令を遵守すべき公務員として、交通法規を遵守し、安全運転に心懸けます。また、万一事故が発生した場合には、適切に対処します。
- 冬期の積雪時、道路凍結時には細心の注意を払って安全運転に努めるとともに早めの出勤に心懸けます。
- 勤務時間の厳守はもちろん、勤務開始時刻前までには必ず出勤して業務開始に備えます。
- 教科用教科書の選定等に係る事務を公正かつ適正に行います。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 事務用品の在庫管理の徹底、再利用の促進や、両面・縮小コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の縮減を図ります。
- 管理職員による組織のマネジメントを強化し、職員に時間管理の重要性を徹底するとともに、職員間における仕事量の均一化や職場内での工夫による業務の高効率化の促進等により、時間外勤務の縮減に努めます。
- 高等学校就学支援金制度により、生徒に対しては貴重な税金で恵まれた環境で学ぶことができることを認識してもらうとともに、施設や備品等の取り扱いについても、細心の注意を払うよう指導します。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

【取組事項】

- 行政改革の更なる推進、民間活力の導入推進などに向けて、新聞やインターネット等から国や他の自治体の動向などの情報収集を積極的に行い、迅速かつ効果的な事業の執行に役立てます。
- 全ての職員が、業務に関連した研修会等に一回以上参加して専門的な能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。
- 日頃から、職員には、業務に直結する研修はもとより、職員研修所や教育研修課が実施する各種の研修等に積極的に参加することを奨励し、担当職務に関する知識の習得など、自己研鑽に努めます。
- 瑞浪高校は、きめ細かい指導により進路に対応した力を伸ばし、学習を通じて生徒の可能性を引き出し、個々の進路実現を目指すとともに、21世紀をたくましく生き抜く力を育てます。
- 会計職員は、会計規則に精通し、遵守するとともに総合財務会計システムに習熟し正確で速やかな会計事務執行に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、学校教職員全員の連絡体制を整備します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 各種危機管理対応マニュアルを参考にしながら、想定される災害事案ごとに連絡方法や役割分担を定めるなど、学校内の危機管理体制を整備します。
- 各種の研修会に積極的に参加して情報収集に努め、他の自治体や教育機関等で発生した危機事例について、その原因、対応策等を分析し、所属内の危機管理体制の見直しや職員の危機管理意識の向上等に役立てます。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、校長の統一的な指揮のもと、全教職員への情報伝達を速やかに行い、情報収集・分析・報告、応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施に当たります。また、教育委員会や関係機関、県民をはじめ生徒保護者等への情報提供を速やかに行います。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 職員会議または職員朝会や各分掌内の打合わせ等を週一回以上開催し、業務の進捗状況などについて情報共有を行うとともに、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて意見交換を行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握を行い、気軽に議論・情報交換等のできる雰囲気づくりに努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ管理職員への報告を速やかに行います。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員に対して、地域活動等（地元の消防団や自治会、ボランティア活動など）への参加を奨励するとともに、具体的な活動内容について、校内で発表し理解を深めます。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動等が行いやすい職場環境づくりに努めます。
- 環境にやさしい物品の購入や、買い物時におけるマイバッグの持参等、地域においても、環境保全運動に率先垂範で取り組みます。

8 県民との対話を大切に、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信に当たっては、学校のホームページやマスコミなど多様な広報媒体を効果的に活用し、学校の事業推進などに関する情報を県民の皆様に適時・的確に提供するとともに、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。
- 「現場主義」と「対話重視」を基本理念に、学校の育友会や同窓会、その他地域の住民との対話を重視し地域との連携を推進するとともに、学校運営協議会委員等からの意見・提言を聴取し、各種の会議や学校説明会等の機会を通じて、県民の皆様の意見、提言を参考とし、今後の学校運営につなげていきます。
- 県民の皆様の苦情や相談については、職員が見落としている視点や、意識のギャップを気付かせてくれる貴重な情報であることから、真摯に耳を傾け、学校運営の見直しや勤務態度の改善等に役立てます。